

う えだ UEDA

市議会だより

No.49 平成27年2月1日号



信濃国分寺駅前のイルミネーション

3月定例会は
2月23日(月)
開会です。

本会議の概要	2
委員会審査の概要	4
24人の議員が市政を問う	6
請願・陳情の審査結果	15
議会報告会における意見交換	16
常任委員会行政視察報告	19
議会モニター募集・編集後記	20

未来の宝 紹介



大屋幼稚園

「こっちまでおーいで!!」

冬の凍みる朝、園の広い庭はいちょうのじゅうたんと霜柱が一面。サクッザクッザクッ……。

「子どもは風の子」、北風ピューピューでも元気いっぱいみんなで外遊び。

氷おに、色おに、形おに、モノおに、バナナおに、忍者おにetc。

子ども達の遊びは∞(無限大)。おにごっこもどんどん発展していきます。



聖マリア幼稚園

「大きな鬼の完成!」

どんな鬼にしようかー。とまず話し合い紙を貼り合わせ大きな鬼の下描きをし色塗りです。

縦割りのグループごとにみんなで力を合わせて、個性ある鬼をそれぞれ完成させます。

「豆まきで、やっつけるぞ」と気合が入ります。

12月定例会

一般会計補正予算他41議案を可決

新たにいじめ問題対策連絡協議会等条例を制定



12月定例会は、11月25日から12月15日までの21日間の会期で開かれました。市長提出議案は、一般会計補正予算や新設条例の制定、指定管理者に係る議案など41件で、慎重審議の結果、すべて可決（または適任）とされました。また、一般質問には、24人の議員が登壇し、市政の課題について活発な議論が交わされました。

予算 一般会計補正予算は 約11億1400万円余の増額

一般会計予算は、11億1400万円余を増額補正し、総額74億6500万円余となりました。これは、昨年度同期に比べて4.9%の減額となっています。そのほか6つの特別会計と5つの企業会計の補正予算が提案され、全て可決しました。

主な補正内容としては、

NHK大河ドラマ「真田丸」放送に係る施設整備等の経費として、観光会館改修事業で売店の改修工事の実施設計に係る経費（200万円）、古城緑地広場公衆トイレ改修工事（130万円）。市立博物館横のトイレを改修する上田

城跡公園トイレ整備事業（307万円）、上田城跡公園の北槽及び南槽への券売場設置等工事に係る上田城跡整備事業（923万4千円）。駐車場拡大のため、勤労青少年ホームの解体に係る実施設計委託費用として勤労青少年ホーム解体事業（100万円）が計上されました。

このほか、総務省の交付金を活用し、海野町商店街の空き店舗を活用して、子育て中の女性を対象とした託児室、キッチンを併設したコワーキングスペースを整備する地域経済循環創造事業（2250万円）。民間保育

所における、人材確保対策を促進するために、保育士等の処遇改善を実施した保育園に対し補助を行う民間保育所助成事業（2280万5千円）。平成25年4月の凍霜害の際に農業者が借りた災害資金の利子を助成する農業融資利子補給事業（6万



コワーキングスペースを整備する海野町商店街

7千円)のほか、自立支援給付費、青年就農給付金などの本年度執行見込みによる事業費の調整等です。

各特別会計では、給付見込みによる給付費の調整のほか、人事異動等に伴う人件費の調整に係

条例 いじめ問題対策連絡協議会等条例制定案 など全9件を可決

今定例会では、新設条例1件のほか、既存条例を一部改正する条例6件と条例廃止2件が提案され、全て可決しました。

「いじめ問題対策連絡協議会等条例」は、「いじめ防止対策推進法」の規定に基づき、いじめ問題に対応するため、上田市いじめ問題対策連絡協議会その他の付属機関を設置するために必要な事項を定めるものです。

「国民健康保険条例中一部改正」は、産科医療保障制度の見直しに伴い、

る予算が計上されました。

企業会計では、水道事業会計において、上下水道料金徴収等業務の民間委託する上下水道料金徴収等業務委託(7億円)の債務負担のほか、人件費の調整に係る予算が計上されました。

出産育児一時金について、被保険者の自己負担の軽減を図る健康保険法施行例の一部改正に伴い所要の改正を行うものです。

「勤労青少年ホーム条例廃止」は、利用者の減少や施設の老朽化を背景に、今年度をもって施設利用を終了し、駐車場を整備するため、条例を廃止するものです。

また、定例会最終日には、職員給与の改定と特別職の期末手当の改定に係る「上田市職員の給与に関する条例及び上田市

また、11月25日には、

衆議院議員選挙に係る補正予算が、12月15日には職員給与の改定に伴う条例案と補正予算案が追加提案され、それぞれ可決しました。

特別職の職員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例中一部改正」が提案され、可決しました。

【その他可決した条例】

- ・重症心身障害児・者施設条例中一部改正
- ・市営駐車場条例中一部改正
- ・消防団員等公務災害補償条例中一部改正
- ・武石地区オフロード通施設条例廃止
- ・体育施設条例中一部改正

事件決議

45箇所の公の施設の指定管理者の指定など7件を可決

事件決議では、「上田市朝日が丘児童館」をはじめ、新たに制度導入の2施設を含む45施設について、平成27年4月1日からの指定管理者を指定するために議会の議決を求める「公の施設の指定管理者の指定」についての議案が可決しました。

このほか、市立第三中学校の耐震化工事に伴う仮設校舎建設のための「市立第三中学校耐震化事業仮設校舎建設建築主体工事請負契約の締結」の議案など、合計7件の事件決議案が提出され、それぞれ可決しました。

【その他可決した事件決議】

- ・訴えの提起について
- ・市道路線の認定について
- ・市道路線の廃止について
- ・市道路線の変更について
- ・交通事故に係る和解について

意見書

「精神障害者の地域移行に関する意見書」を国に送付

「精神障害者の地域移行に関する意見書」は、我が国の精神疾患による入院患者が約32万人といわれ、そのうち1年以上の長期入院患者は約20万人と推定されるなか、国の進める精神障害者の地域移行に向けた精神科病床の居住系施設への転換

に係る施策については、関係者の十分な理解を求めつつ、地域における居住の場のあり方などを考慮し、慎重に検討を行う上で総合的支援策の充実に向けて政策展開を図るよう求めるもので、全会一致で可決しました。

◆人事案件

- ・人権擁護委員の推薦
- ・黒澤俊直さん (中吉田)
- ・金井律子さん (七ヶ)

体育施設条例中 一部改正

問

城跡公園内にあ
る50mプール及
びちびっこプールの廃
止について、外国籍市
民の方も含め利用者へ
どのように周知してい
くのか。

答

ポルトガル語版
と中国語版も発
行している「広報つえ
だ」により周知してい
きたい。また、上田市
多文化共生推進協会へ
も周知依頼していく。
団体利用されている幼
稚園や保育園へは、平
成26年6月に各団体に、
説明したが、廃止が決
定したらもう一度説明
し、周知を図りたい。

一般会計補正予算

問

源泉徴収不足額
の納付はどのよ
うに行うのか。

答

本来は、上田市
が源泉所得税を
控除した額を報酬等と
して個人事業主等へ支
払い、税務署へ控除し
た源泉所得税を納付す
る。今回の場合は、徴
収不足となっていた源
泉所得税等を、市がま
ず税務署へ納付し、そ
の後、個人事業主の皆
さんに所得税の更正請
求等をお願いし、戻っ
てきた額を上田市に納
付していただくことに
なる。

公の施設の指定管 理者の指定

問

児童館、児童セ
ンター及び児童
クラブにそれぞれ1事
業者からしか応募がな
かったことについて、
どう考えているか。

答

応募者は、ほか
に応募者がいる
かどうかわからずに応
募してくるため競争原

理は働いていると考
える。ただし、応募が複
数あり、比較できるこ
とが理想。指定管理者
決定後は、指定管理者
自身が作成した事業計
画書に沿って業務が行
われているか、しっか
り検証していく。

総務文教委員会

●12月5日及び15日に開催し、条例案3件、補正予
算案12件、事件決議案3件、請願1件の審査を行
いました。

産業水道委員会

●12月5日に開催し、条例案1件、補正予算案4件、
事件決議案1件、陳情2件の審査を行いました。

勤労青少年ホーム 条例廃止

問

勤労青少年ホー
ムはどのような
役割を果たしてきたと
考えているか。

答

各種講座の開催
やクラブ活動で
の利用を通して、働く
青少年の交流の場や育
成、社会的な活動
の場として、非常に大
きな役割を果たしてき
たと認識している。

一般会計補正予算

問

地域経済循環創
造事業について、
どのように経済が循環
する仕組みか。

答

助成金の仕組み
は、地域で資源
やお金があまく行き渡
らず活性化できていな
いとこの視点から、地域
で事業を立ち上げる際
に、国の補助金に加え、
市や地元金融機関等も
協力して支援するとい
うもので、地域内で雇
用や仕事が生み出され、
お金が回ることから、
地域経済循環と位置づ
けられている。

問

今後の観光トイ
レ整備の考え方
はどうか。

答

市全体では、各
地域の状況を踏
まえ順次整備していく
必要があると考えてい
るが、大河ドラマの放
送が約1年後に迫って

いることから、限られ
た財源の中で真田地域
を優先して整備してい
る。

問

農地台帳システ
ム整備はどのよ
うな効果があるのか。

答

農地のさまざま
な情報収集等と
その提供が可能となる
ため、今年度から実施
している農地中間管理
事業等との連携を円滑
に図ることができるよう
になる。

公の施設の指定管 理者の指定

問

丸子農産物直売
加工施設の管理
運営業務に対して、市
はどのようにかわっ
ているのか。

答

業務が多忙とな
るイベント開催
時の応援や売り場のシ
ステム改善等の相談な
ど、折に触れて運営に
協力している。

の審査概要

国民健康保険条例 中一部改正

問

産科医療補償制度はどのようなものか。また、産科医療補償制度の掛け金が下げられた理由は何か。

答

産科医療補償制度は、この制度に加入している病院や診療所等で分娩した際の医療事故により重度の脳性まひとなった子どもとその家族に総額3000万円の補償金が支払われるものである。掛け金が引き下げられたのは、当初の見込みよりも対象となるケースが少なく、剰余金が発生しているため、掛け金の見直しが行われたことによる。

一般会計補正予算

問

母子家庭等高等技能訓練促進費

の概要と補正増の理由は何か。

答

母子家庭等高等技能訓練促進費は、ひとり親家庭の母又は父に対して、能力開発のための制度として実施しているもので、介護福祉士や看護師、理学療法士等の養成機関において2年以上のカリキュラムを修業して資格取得が見込まれる方で、就労と修業の両立が困難な方等を対象に支給している。今回の補正は、昨年度に比べ利用者が増えたこと、住民税非課税世帯の増加などに対応するためである。

公の施設の 指定管理者の指定

問

上田市つむぎの家の指定期間が3年間となっている理由は何か。

答

この施設は老朽化が進んでいて、そのあり方について検討する時期に来ていることから今回、3年間の指定期間とした。今後は、施設の展望について、指定管理者の意見も聞きながら、老朽化している施設の建て替えに向けて、どのような方策が考えられるのか検討に入りたいと考えている。

厚生委員会

●12月8日に開催し、条例案2件、予算案7件、事件決議案1件、請願1件、陳情4件の審査を行いました。

常任委員会

環境建設委員会

●12月8日に開催し、条例案3件、予算案3件、事件決議案5件、陳情1件の審査を行いました。

武石地区オフロード 通信施設条例廃止

問

廃止後の情報伝達については、どのように考えているのか。

答

現在ある情報伝達手段、丸子テレビや市の広報紙、ホームページ、メールサービスなど各種情報システムを組み合わせるほか、人的ネットワークにより対応していきたいと考えている。

たいと考えている。

一般会計補正予算

問

今年2月の大雪による経験を踏まえ、具体的にどのような対策が練られ、どのような取り組みがされたのか。

答

2月の除雪等についての検証を行い、除雪路線の延長をしたほか、市の除雪機のリース台数をふやした。また、除雪工区の分割、緊急輸送路、主な病院やバス路線などを優先的に除雪すること。国道・県道との相互連携を図ることなどの見直しを行った。

問

消防団員退職報酬金について、予算では130人の退職者を見込んでいたが実際は83人であった。誤差を防ぐために、分団単位の予備調査をすることはどうか。

答

これまで各分団に対しての予備的な調査は実施していない。退職者の予備調査については、今後、消防団と協議しながら検討していきたい。

駐車場事業特別会 計補正予算

問

これまで、指定期間が3年とすることで債務負担行為が行われてきたが、今回、指定期間が5年になる理由は何か。

答

これまでの指定期間3年では、指定管理者の人材確保や人材育成が図りづらく、経営ノウハウが発揮しづらいという課題があったことから、今回、公募、非公募を問わず、指定期間は、5年を基本としたことによるものである。

24人の議員が市政を問う

12月定例会一般質問要旨

12月定例会の一般質問は12月1日頃から3日の日程で行いました。

掲載内容は、質問の一部を要約したもので、質問議員本人が文章を作成しています。

質問全体の内容は、会議録によりご覧いただくことができます。会議録は、議会事務局、市内図書館及び公民館等で閲覧することができます。また、ホームページでもご覧いただけます。

なお、一般質問の様子は上田ケーブルテレビジョン及び丸子テレビ放送のご協力により生放送及び録画放送を行っております。

一般質問

半田 大介議員（公明党）



市民が安心できるマイナンバー制度

問 市民にはマイナンバー制度はあまり知られていない。市民への周知と安心して活用できるための対策はどうか。

答 （武井総務部長）平成27年10月から個人番号の通知、平成28年1月から個人番号カード交付について、市民から多くの問い合わせなどが想定される。今後、問い合わせ専用電話の設置、個人番号カード交付の専用窓口の設置を検討する。

また、個人番号カードの悪用や特殊詐欺対策への対応、高齢者の理解を深めるための対策について、出前講座をはじめ、さまざまな場面を活用し周知を図る。特に高齢者には地域の民生児童委員の役員会や研修会などの場で説明し、理解を深めていただく。

問 平成28年1月から発

行される個人番号カードを市民が活用して、今後コンビニエンスストアにおいて住民票など証明書類の発行業務を含め上田市独自で行う住民サービスは何か。

答 （武井総務部長）現在市にある印鑑登録証、市民カード、住民基本台帳カードなどを可能な限り個人番号カードへ統一したい。また、市内3か所ある自動交付機による証明書交付から、個人番号カードを活用したコンビニエンスストアでの証明書交付に切りかえていく。コンビニエンスストアでの証明書交付は、利用できる時間や場所が格段に広がり、市民サービスの向上につながる。平成28年1月からの実施を目指している。

一般質問

松山 賢太郎議員（新生会）



オープンデータ化に対する取り組み

問 行政情報のさらなる公開と活用方針は。

答 （武井総務部長）人口データ、農林業、商工業健康、教育など17分野の統計資料をデータ化し、ホームページで公開している。観光資料など既にある紙媒体やPDFファイルで作成された資料は、経費と労力が必要でオープンデータ化する予定はない。今後、紙媒体の資料を作成する際は、二次利用しやすい電子データ化に対応するよう調整していく。平成27年3月には市のホームページをリニューアルする予定で、統計データもわかりやすくして利用しやすいものにし、未公開データに関する要望には電子申請による受付を設け、迅速に対応できるように検討する。

行政情報の管理体制

問 行政情報システム活用に関するアクセス管理体制はどうしているのか。

答 （武井総務部長）システムへのアクセスは、職員ごとに設定されたIDとパスワードにより認証し、所属部署でアクセス権限を設定し、パスワードは3か月ごとに変更している。各自のパソコンへのデータは保存できない体制で、データの書き出しも各課の文書担当者限定する制限をしており、人的な対策も職員研修や内部監査を充実している。各課に情報セキュリティ担当者を設置し、情報の不正流出の防止に努め広報情報課で不正行為の監視をしている。アクセス履歴については、平成18年の4市町村合併時から記録・保管している。

マイナンバー制度 2013年5月の番号法成立により、年金の基礎年金番号、介護保険の被保険者番号など、行政機関、自治体等が事務手続をする際に分野や組織を特定するための複数の番号を同一人物の情報であることを確認できるように国民一人一人に個人番号と呼ばれる12桁の番号を付け、各分野、各機関が同じ番号を利用する制度。

一般質問

宮下 省二議員（創始会）



市民への

情報伝達手段

問 有線放送電話は、耐用年数を大きく超えて使用されているが、いつ故障で放送不能になるかわからない状況の中で、新たなコミュニケーション機能を有する音声告知放送システムが最も有効な手段と考えるがどうか。

答 （母袋市長）市の立場としては、多くの市民が求めるもので、利用の広がり期待でき、防災の面だけでなく、市民生活における利便性の向上や自治会などの事業での活用や情報格差の解消などの点で有効な手段として、コスト面も加えて検討している。なるべく早期に結論付けたい。

建設業に対する

市の考え方

問 平成26年2月の豪雪や豪雨による土砂崩落などの際、建設業者の尽力

もあり、安全で快適な都市の魅力が構築されたと思うが、建設業に携わる皆さんへの市の支援はどうか。

答 （母袋市長）特に建設現場の担い手不足、若年労働者が減少していることから、雇用促進策として、資格取得や正規雇用につながるような事業を積極的に支援している。

また、建設業者は危機管理においても市民の安全、安心のまちづくりを進める上でなくてはならない存在でもあるので、今後も支援・育成に努めたい。問 今後連携は必要不可欠と考えるがどうか。

答 （清水都市建設部長）将来のためにも機会を捉え、技術懇談会等を開催し、意見交換や意思の疎通を図りたい。

その他の質問項目

寧波市との友好都市交流

一般質問

松尾 卓議員（公明党）



パーソナル・サポート・モデル事業

問 生活困窮者自立支援法が平成27年4月に施行される。生活保護受給世帯数は増える中、いざ生活保護制度を利用せざるを得ない方に対し、受給に至る前の早い段階からの対策が必要。法の施行を控え、モデル事業の経験から今後はどのような支援をしていくのか。

答 （小林健康福祉部長）住宅確保給付金等を予定しているが、今年度の実績を十分検証し、より効果的な支援を検討する。問 受け入れ体制の充実を図るためには、関係機関との連携が必要だが、市の取り組みはどうか。

答 （小林健康福祉部長）社会福祉協議会や民生児童委員協議会、ハローワーク、NPO法人等の関係機関による上田地域協議連絡会を12月中旬に開催する。その他、庁内の

関係する部局の連携・協力体制を整えている。

木質バイオマスの利用促進

問 林産作業行程の中で林地残材の搬出率を高めることや松くい虫被害木をエネルギー源として有効活用することで、林業の活性化を図るため、市が率先して公共施設の更新時期のボイラーを木質バイオマスシステムに転換し、木質バイオマス燃料の需要を創出し、新たな雇用と供給体制の構築につなげていく考えはあるか。

答 （甲田農林部長）公共施設の既存設備の状況、燃料調達や施設改修等に要するコストなど、総合的に検証を行い、設備の転換が見込める施設については、導入に向けた検討をしていく。

一般質問

久保田 由夫議員（日本共産党）



上田市の財政

問 地域協議会の意見をどのように予算に反映していくのか。

答 （滝沢市民参加協働部長）これまで9つの地域協議会で合計58件の提言や意見があった。これまでに実施した主な事業は、地域自治センターや公民館、図書館などの整備、循環バスや路線バスなど公共交通、わがまち魅力アップ応援事業の充実など。今年度は、依田川リバーフロント市民協働事業や真田氏発祥の郷誘客事業ほか観光関連事業、また武石地域全域公園化構想推進事業などについて、持ち寄り基金を活用し実施していく。

問 国が打ち出した「地方創生」について、地方六団体がどう主体的に関与していくのか。

答 （母袋市長）国と地方との協議の場や地方創生

担当大臣との意見交換会において、「地域の実情に応じた人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定と実施に向けて、地方側としては全力で取り組む覚悟を表明するとともに、地方の創意工夫を最大限生かす観点から、単なる補助金の寄せ集めという形ではなく、地方が自立して政策を遂行するための自由度の高い包括的な交付金、あるいはきめ細やかな政策を拡充、強化するための地方交付税の充実」を要望した。上田市としても、「地方創生の取り組みに当たっては、必要となる財源の確保、また規制緩和、権限の委譲等について、今後も市長会も通しながら要望していく。

その他の質問項目

丸子温泉郷の振興

一般質問

金沢 広美議員（公明党）



学校教育

問 国と県が進めている
コミュニティ・スクール
について市の取り組みと
コーディネーターの役割
は。

答（小山教育長）文部科
学省は、浦里小学校と川
西小学校をコミュニティ
・スクールに指定。3年
経過した浦里小学校では、
学校運営協議会を中心に
取り組み、昨年度は延べ
3000人を超える学校
支援ボランティアが参加
した。信州型コミュニティ
・スクールは、県の事
業として地域人材を活用
して、学校を支え、子ど
もたちの地域への愛着を
育む。学校と地域をつな
ぐコーディネーターの養
成や資質向上が課題であ
る。

べ利用者数は平成21年の
1.4倍。定員を上回る施設
は分室設置や施設の場所
を変更してきた。

問 不登校児童・生徒の
現状は。

答（西入教育次長）昨年
度の不登校者数は小学校
30人、中学校108人。児童
・生徒が学校に来ること
を楽しみと感じられる魅
力ある学校づくりを目指
している。全ての教職員
を対象にしたカウンセリ
ングマインド研修を行う。
教育相談所を設置し、市
内5カ所に中間教室を開
設しており、学習指導等
を受けることができる。

問 小中学校施設整備事
業の進捗状況と通学路の
安全確保の取り組みは。

答（西入教育次長）平成
24年度末における全ての
学校の耐震化率は92・3
%。平成28年度には完了
予定。小学校通学路の危
険箇所は、58地点で引き
続き関係機関と検討して
いく。

一般質問

成瀬 拓議員（日本共産党）



国民健康保険

問 国民健康保険の加入
状況はどうか。

答（小林健康福祉部長）

5年前と比較すると65歳
以上の加入者が増加して
いることが顕著で、年金
を主たる収入とする年齢
層が増加していることも
一因として、国保加入世
帯における低所得世帯の
増加につながっているの
ではないかと考えている。

問 相談窓口への主な相
談内容と相談に対する対
応はどうか。

答（小林健康福祉部長）
窓口での相談内容として
は、解雇・離職等による
収入減少の相談や病氣、
けがによる臨時支出の相
談など、多岐にわたる。
対応としては、生活状況
全般の聞き取りを行い、
必要に応じて収入・支出
・資産状況等の確認がで
きる資料提出をお願いし、
生活実態を正確に把握す

ることで、適した納付方
法による滞納解消に向け
た取り組み、納付をお願
いするように努めている。

問 国民健康保険税を引
き下げる考えはないか。

答（小林健康福祉部長）

事業の安定的かつ持続的
な運営を行うため、被保
険者から応分の負担をお
願いせざるを得ないと考
えている。一般会計から
の基準外の繰出金は、総
合的見地から検討し、慎
重に対応すべきと考えて
いる。今後、経済不況と
なった場合、収入不足と
なるおそれもあるため、
都道府県移行後も安定的
な事業運営の面から市と
しても、基金の必要性に
ついて検討が必要と考え
ている。

一般質問

西沢 逸郎議員（新生会）



地域の活性化

問 外国人旅行者をどう
上田に呼び込むか。

答（関商工観光部長）外
国人宿泊者数は、25年が
6804人と県下でも多
くはなく、今後モインバ
ウンドミーティングやお
もてなしの心の醸成、イ
ンターネットでの情報発
信等誘客の取り組みを進
める。

問 スポーツによる地域
活性化の取り組みの現状
は。

答（小山教育長）菅平高
原において、ラグビーワ
ールドカップやオリンピ
ック、パラリンピックの
合宿誘致に取り組んでい
る。市内施設を有効活用
してスポーツによる地域
振興に努めていく。

問 恵まれた自然や首都
圏・北陸圏へのアクセス、
新幹線の停車など地域特
性を活かして、スカイラ
ンニングによる地域振興
ができないか。また、世

界大会を開催して、外国
人観光客を誘致する取り
組みは。

答（母袋市長）スポーツ
資源としての菅平高原で
の2019年・2020
年の大イベントの取り組
み、小諸市や軽井沢町等
と高地トレーニング地域
としての魅力をつくり、
展開を図っていく。さら
に、競技者の皆さんとの
協働や支援をしていく。

西部公民館の整備

問 上田警察署跡地への
整備を要望する西部・塩
尻地域の市民の声に対す
る市の見解は。

答（金子政策企画局長）
西部公民館のまちづくり
拠点としての役割や地域
要望の実現、他の事業と
の調整をし、平成27年度
の実施計画において事業
計画が具体化できるよう
位置付けをする。

その他の質問項目

地方の仕事づくり

一般質問

松井 幸夫議員（創始会）



産学官連携による取り組み

問 産学官連携支援施設

ARECの概要と現状は。

答 （関商工観光部長）施設の中核をなす共同開発

研究室は18室あり、技術

開発や製品化等を目指す

場として活用されている。

問 ARECの役割をど

のように考えているか。

答 （関商工観光部長）中

小企業支援の中心的な機

関としての役割を担って

いる重要な施設と考えて

いる。

問 ARECとの連携に

ついて、東信のリーダー

的存在として牽引してい

く考えはどうか。

答 （母袋市長）千曲川工

業ベルト地帯でリーダー

シップを発揮することに

より、技術の高度化、製

品の高付加価値化、産業

創出を目指し、事業連携、

充実を図る。

武石地域における

オフトーク通信施設

一般質問

渡辺 正博議員（日本共産党）



上下水道料金徴収

等業務の民間委託

問 民間委託による職員

の削減が、技師の確保や

技術継承に影響を及ぼさ

ないか。

答 （峰村上下水道局長）

各種研修等を活用して専

門技術の習得を行うなど

一層の人材育成を図る。

技術系職員の人事異動に

ついても経験年数等を考

慮し技術継承につながる

よう努める。

ごみ問題

問 資源循環型施設建設

対策連絡会が主張する

「負担の公平」についてど

のように考えているか。

答 （母袋市長）諏訪部・

秋和地域は、過去から

様々な迷惑施設が集中し

ており、今日まで、地域

の皆様のご理解とご協力

に對し心から感謝を申し

上げる。施設から利益を

受ける圏域住民が、施設

をお願いする地域のため

に、一定の負担を担うと

いう意識を常に持ち続け、

行動することが重要であ

ると認識している。

問 「意見交換会の再開

をお願いしていく」とい

うが、関係自治会も含め、

市長自ら出向くのか。

答 （母袋市長）上田市長

としても率先して、関係

自治会を含め、役員の皆

様にお会いしお願いして

いく。

問 市長は、2回目の意

見交換会を「とりやめる」

という連絡会からの申し

入れに對し「納得できな

い思い」としているが、

目線が高すぎないか。

答 （母袋市長）突然の申

入れで、大変驚いたとい

うところが正直な私の気

持ち。早期に問題点を整

理し、意見交換会の再開

を正式に対策連絡会に申

し入れる。

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

12月定例会において、本会議を傍聴された方は延べ41人でした。傍聴された皆さんには、ご感想やご意見をアンケート用紙に記入していただいています。

お寄せいただいたご感想、ご意見の一部を紹介します。



○私たちにとって身近な問題が多く、市政としての考え方を聞くことができ、良い機会となりました。もっと若い人たちにも生の声を聞くことができるという議会傍聴に参加してほしいと思いました。(60代 女性)

○自分たちの身近なことが話し合われていて、これからは配られるものをよく見させていただきます。ますます住みよい市となりますよう！！(70代)

一般質問

金子 和夫議員（新生会）



観るスポーツ、
支えるスポーツの
環境整備

問 スポーツ振興計画に
うたわれている、スポー
ツを観る支える環境への
取り組みは。

答 （西入教育次長将来
を見据えた整備計画で、
スポーツ環境整備プラン
を進める。

問 市民が応援できるサ
ッカー競技環境は。

答 （西入教育次長スポ
ーツ施設整備基本構想を
策定中であり、サッカー
場整備の方向について検
討する。

観光客が市内回遊
するためのデジタル
アーカイブ活用

問 マルチメディア情報
センターで蓄積されたデ
ータを観光客の市内回遊
に活用できないか。

答 （西入教育次長新た
なコンテンツづくりも含
め観光振興に結び付くよ

う検討する。

ワインを活用した
シティーセールス

問 ワインメーカーの協
力で、市や真田氏を印象
付ける商品の開発は。

答 （甲田農林部長ワイ
ンによるシティーセール
スは、重要な取り組みで
あると認識しているため
オリジナルワインの製造
を検討する必要がある。

問 2016年開催の主
要国首脳会議の候補地に
軽井沢町が立候補してい
るが晩餐会で上田市のワ
インを採用してもらおう
と働きかけては。

答 （甲田農林部長主要
国首脳会議の晩餐会に提
供されれば上田市をPR
する絶好の機会であると
考え、可能性があると判
断した場合は関係機関や
ワインメーカー等へ支援
依頼をする。

一般質問

佐藤 清正議員（創始会）



統計調査等の
データ活用

問 第二次上田市総合計
画アンケート調査でわか
ったことは何か。

答 （金子政策企画局長）
「住みやすいまちか」の問
いに81・3%が住みやす
いと回答し、平成18年調
査と比べて4.8ポイント上
昇した。地域別にみると、
武石地域では住みやす
いと回答した方が57%で前
回より8ポイント減少し
た。日常生活については、
真田地域で不便と感じる
との回答が56・7%で前
回より14・7ポイント増
え、武石地域でも不便と
感じると答えた方が70・
6%で42・6%も増えた。
住みにくさの理由として、
丸子地域ではまちに魅力
や賑わいが少ないとの回
答が53%で前回に比べ12
ポイント増えた。

問 経済センサスからわ
かる市の産業特徴は何か。
答 （武井総務部長農業

については、総農家数の
減少により、小さいもの
の農業により収入を得る
販売農家から自家消費の
自給農家に移行している。
製造業については、売上
高は県下5位であるが、
製造業の付加価値は県下
1位で、上田市の製造業
の強みとなっている。

温泉源泉の
管理と活用

問 源泉管理の課題は何
か。

答 （関商工観光部長）温
泉の湧出量や温度を安定
的に確保することが課題
である。特にポンプ施設
の老朽化への対応が大き
な課題となっている。

問 霊泉寺源泉の今後の
活用はどうか。

答 （片山丸子地域自治
センター長 霊泉寺温泉
の活性化策を総合的に考
える中、旅館組合の考え
を改めてお聞きし、地域
活性化の取り組みを支援
したい。

一般質問

原 栄一議員（創始会）



サントミューゼの
利用状況

問 去る10月2日、「文
化の薫る創造都市うえ
だ」の拠点施設としてオ
ープンされたが、その後
の利用状況は。

答 （宮川交流文化芸術
センター館長）自主事業
では、さだまさし、N響
ピアノ開きコンサート、
宝塚歌劇等については、
1万5000人が来場。
「山本鼎のすべて展」に
5週間で1万2800人
の入館があった。続く長
野県美術展においても、
3週間で7150人の来
場者を記録した。今後の
予約状況は、大小ホール
の公演、市民アトリエギ
ャラリー等の予約につい
ては、13カ月前から予約
を受け付けている。27年
も開館日数に対する予約
日数、稼働率は大ホール
で78%、小ホールは70%
という状況で、休日や週
末を中心に予約がいつぱ

大型観光バスの
駐車場整備

問 現在やぐら下に8台
分の大型観光バス専用の
駐車場があるが、不足分
の対応は怎么样了
のか。

答 （清水都市建設部長）
大型車に対応した駐車場
として、やぐら下庁舎の
跡地に、30台程度収容で
きる駐車場整備を進めて
いく。

観光客への
おもてなしの心

問 観光客への食事処な
どの情報提供や連携は。

答 （金子政策企画局長）
現在の回遊コースの再検
討を行い、食事処マップ
の充実を図っていく。

その他の質問項目

移住・定住に向けた取り
組み

一般質問
井沢 信章議員（新生会）



松くい虫防除対策

問 松くい虫の侵食が止まることなく進んでいる。このままでは上田のアカマツは全滅する。市が進めてきた防除対策は効果があったのか。被害を止めるためには空中散布が一番効果があると専門家は言っている。空中散布を再開する計画はあるのか。自治会などが総意として、空中散布を要請した場合、市はどう受け止めるのか。

答 （甲田農林部長）市が進めてきた防除対策は、伐倒薫蒸処理を中心に、地上薬剤散布、樹幹注入、樹種転換などである。松くい虫の被害は、24年度25年度は2万㎡を超える被害量となっている。国の補助金は、大幅に削減され被害量に対して40%から50%である。このため、被害を止めることは厳しい状況である。空中散布は、健康被害を訴える方々からの中止要請などを踏まえ、21年度から中止している。市としては、健康被害との因果関係が明確に立証できないことから、直ちに空中散布を再開することは難しいと考えている。また、自治会からの空中散布の要請を受けた場合の対応は、他に代替できる効果的な実施方法がないこと、法令や基準を遵守し、安全の確保が図られること、化学物質過敏症など、人への安全性の確保が求められることなどの基本方針を踏まえ、リスクに対して相互の意思疎通と理解を図りながら考えていく必要がある。

その他の質問項目

土曜日授業の再開

市が指定した天然記念物と保存樹木

一般質問

小坂井 二郎議員（上田新風会）



行旅病人と生活困窮市民への対応

問 行旅人が、過去5年間で市が扱った行旅人の病死人の数と、入院・治療等と回復後の扱い、死亡時の対応はどうか。

答 （小林健康福祉部長）行旅死亡人は3人で、病人はいない。行旅病人が治療費を払えない時は市が立替えて、後日県に請求する。回復後は、隣の行政区までの交通費とパン代200円を支給できる。生活保護は、相談に応じる。死亡時は火葬等、最小限の対応で、本人記録を添付し、市霊園に埋葬後、官報に掲載する。

問 国保加入者への葬祭費補助5万円の他に、救済制度はできないか。

答 （小林健康福祉部長）他市に例はあるが、市では考えていない。

市が指定した天然記念物と保存樹木

問 市指定の保存樹木は、

答 （甲田農林部長）指定保存樹木は46本、保存樹林は17カ所で、面積は4haである。

問 観光地にある樹木もあり、調査と地元自治会への支援が必要と思うがどうか。

答 （西入教育次長）条例の規定に基づいて対応していく。

自然運動公園プールの現状

問 自然運動公園プールの修繕とスタッフの技能向上と処遇の改善は。

答 （西入教育次長）損傷部分を補修し、来シーズに間に合わせる。非常勤職員の賃金規定があり、特別手当の支給は困難だが、大変過酷な仕事と認識している。応募者にはAED・人工蘇生等救命講習を義務付けている。

本会議を傍聴されたみなさんの声

～ご感想・ご意見をいただきました～

傍聴者の声

○議会報等が配られてくるが、ゆっくり読む時間もなく、どんな討議がされているのか関心を持たなかったが、議会を傍聴して現実の問題をわかりやすく答弁している姿を見て、大変勉強になりました。比較的若い議員さんの発言がわかりやすく、ときばきとした態度が気持ちよい。（60代 女性）

○初めて議会を傍聴し、実際の様子が変わりました。質問は難しいことと身近なことがあり、身近なことはわかりましたが、聞き慣れない用語もあり、理解できない内容がありました。（60代 女性）

一般質問

山田 英喜議員（創始会）



体育協会に対する考え

問 上田市体育協会の目標達成に向け、助言や要望を行っているか。また、東京オリンピックや長野国体開催を見据え、市として協会に期待する点や要望事項は何か。

答 （西入教育次長）協会に加盟する競技団体には、指導者育成に加え、幅広い世代が参加できるスポーツイベント等の開催もお願いしたい。また、オリンピックや国体開催に向け、重点的に強化する競技種目を選定し、出場を目指す選手の育成に向け、競技団体の意向を確認し、調整を望みたい。

市営住宅

問 市の考える将来的な市営住宅のあり方は。

答 （峰村生活環境部長）計画では、修繕や設備改善をする団地と将来建て替えをすべき団地、順次解体工事を行うべき団地

の3種類の活用方針を定め整備を進めている。良質で安定した住宅の供給及び低所得者、被災者等への住宅確保に配慮し、住宅に困窮している方々の居住の安定が図られるよう事業を実施する。

市財政の今後

問 合併特例債や合併算定替の終了により普通交付税が少なくなり、人口減少なども進むと市財政は難しい舵取りとなるかどうか。

答 （母袋市長）今後も行財政改革を推進する一方、「健幸都市」の実現に向け、引き続き人口減少対策や地域の活性化に向けた事業に積極的に取り組む。重点分野の財源の優先的な配分による事業の選択集中、また、基金の効果的な活用、合併特例終了後の交付税水準に対応でき得る、持続可能な行財政構造の確立に向けて進める。

一般質問

深井 武文議員（上田新風会）



地方創生施策と第二次総合計画策定に向けた取り組み

問 市は国の地方創生施策の受け入れに当たり、市民各層、各界の意見の反映にむけて諮問機関等の設置の方針はないか。

答 （金子政策企画局長）行政のみで取り組めるものではなく、戦略の策定に当たっては民間の発意の汲み上げ、民間事業者や団体の意見をいただき取り入れてゆく。

問 地方創生施策は、定住自立圏域構想の市町村との連携が求められるが方針はどうか。

答 （金子政策企画局長）生活圏、通勤圏が密接な市町村との連携は効果が期待できる。中心市として自覚と責任を持って議論し、検討していく。

問 地方創生施策に向けた新年度予算への反映方針はどうか。

答 （鈴木財政部長）国の

方針、動きなど、情報収集に努め、市の方針との整合を図り、可能なものは盛り込んでいく。

問 市長の地方創生施策への所信はどうか。

答 （母袋市長）まち、ひとは市がめざす「健幸都市」づくりと方向性を一致するものと受け止め、期待感を持っている。第二次上田市総合計画に市の特性を活かした創生施策を取り入れ、「健幸都市うえた」の実現を目指し取り組んでいく。

食育と子どもの食物アレルギー

問 保育園の食物アレルギーの状況はどうか。

答 （田口こども未来部長）個別に給食を対応する園児が150人いる。

一般質問

池田 総一郎議員（創始会）



学校教育

問 市内小中学校における電子黒板の活用状況はどうか。また、タブレット端末の導入についての考えはどうか。

答 （西入教育次長）全ての先生が電子黒板の機能を使いこなしているという現状があるので、新しい情報機器を用いた授業づくりの研修などの支援を行っていく。タブレット端末は、普通学級ではモデル校での検証を行った上で今後の整備計画を策定する。また、特別支援学級にはできるだけ速やかに配備を進める。

問 全国学力テストにおける市内小中学生の現状と課題はどうか。

答 （小山教育長）小学生は全国平均とほぼ同じだが、中学生は全国平均を下回る。家庭での学習時間の短さを改善することが今後の課題である。

問 中学生に毎日課されている「提出ノート」は、提出することが目的になっている。また、学校も提出の確認を行うのみで中身についての指導がない。こういう宿題の与え方が10年以上も続いていることを疑問に思うが教育委員会の見解を尋ねる。

答 （小山教育長）ノートを提出すること自体が目的になってしまっているとしたら大きな問題だ。授業の中で家庭学習の成果を確認できるように改善を図る。

問 学力上位県と上田市の中学生との間に学力差ができる原因について、市はどう分析しているか。

答 （小山教育長）学力上位県では、計画を立てて家庭学習をし、日々の授業に対する予習、復習をしっかりと行っている児童・生徒が多い。

一般質問

林 和明議員（新生会）



新エネルギー政策

問 太陽光発電の補助金の交付状況、次年度の補助金の予定。また、小水力発電の導入促進を行う考えはあるか。

答 （峰村生活環境部長） 補助金交付の状況は、平成25年度は補助件数727件で、補助金総額は約8500万円となっている。次年度の太陽光発電システムの補助については、国の固定価格買い取り制度の動向や、これまで補助を受けている人との公平性や連続性について考慮した上で、慎重に判断していきたいと考えている。小水力発電については、電力の買い取り価格の動向や小水力発電設備のコストダウン化などの技術の進歩等について注視しながら、引き続き小水力発電への支援の方法について研究を行っている。

観光政策

問 上田市の観光情報ウェブサイトやSNS等のSNSを利用して発信する考えはあるか。

答 （西入教育次長・東御市ではフェイスブックを来々4月から実施する予定と聞いている。ホームページやメールによる観光情報とともに、観光情報を提供できる有効なツールの一つとして捉えながら、既にSNSを実施している他の先進自治体等での運用方法や課題を参考に今後検討を進めていきたいと考えている。

その他の質問項目

上田城復元
コウノトリ

一般質問

三井 和哉議員（上田新風会）



公文書館の建設

問 自治センターの空きスペースや既存施設を設置場所の候補にしているが、堅牢な建物でなおかつ一定規模を確保できる既存の公共物件はあるか。

答 （武井総務部長） 既存施設の活用を第一に考え、現在候補施設の検討を進めている。目録作成が終了した公文書と旧市町村誌編さん時の資料を併せると、書架延長にして約1.6kmのスペースを確保する必要はある。施設の検討に当たっては、耐震補強工事の必要がない施設を中心に選定していく。

問 上田新風会で沖縄県立公文書館の行政視察を行なったが、地道で膨大な作業を毎日毎日延々とやり続けることが公文書館の仕事であり、使命感もあると感じた。職員体制についてはどのような

認識を持っているか。

答 （武井総務部長） 公文書館の業務は、文書の収集から整理、保管、活用調査研究活動など多岐にわたり、取り扱い文書の特殊性から行政事務に精通した職員や古文書に対する知識を有する職員を配置することが想定される。上田市も収集する文書の取捨選択方法や受け入れた文書の整理方法など、公文書館で行う業務を精査し、適正な人員体制を検討したい。

問 公文書館建設に向けて今後の方向づけは。

答 （母袋市長） 現在各担当部局で公文書館のあり方を様々な視点から検討を行っており、方向性も定まりつつある。並行して進めていた公文書館へ移管する文書の現状把握も終了して、いよいよ具体的な施設整備について検討する段階に入った。

傍聴案内

議会傍聴へお越しください。

議会では、市民の皆さんの身近な問題や、上田市の予算や政策についてなど、さまざまな課題について活発な議論が交わされています。

- ・ 議会の傍聴はどなたでもできます。
- ・ 事前予約は必要ありません。
- ・ 手続きは傍聴券を受け取るだけ。氏名等をご記入いただく必要はありません。

上田市議会ホームページでご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせいただき議会日程を確認の上、お出かけください。

お問い合わせ 上田市議会事務局：0268（22）0452

一般質問

安藤 友博議員 (新生会)



地域内分権について

問 市内3地区を選定し「地域経営会議」設置に向けて協議中であるが、その状況とモデル地区以外の地域での「地域経営会議」はどのように推進しているのか。

答 (母袋市長) 神科・豊殿地区においては、地域性が大きく異なる上に、既に両地区それぞれを単位として振興団体が置かれ、自主的に活動が展開されているため、神科地区と豊殿地区の二つの部会を設置して相互に情報共有を図っている。川西地区では、地域協議会と地区自治会連合会が同一エリアという地域的まとまりの中で、比較的早い段階で「地域経営会議」の設置の方向性が確認されている。丸子地区では、地域自治センターが積極的に地区自治連単位での懇談会や各種団体との意見交換会を重ね、地域協

議会を中心に先進地の視察も行いながら検討が進められている。この3地区では今年度末を目途に「地域経営会議」を設置する方向で進められている。モデル地区以外での「地域経営会議」の検討状況は、来年度以降の設置に向けて地域の理解を深めている。

問 まだまだ「地域経営会議」とはどのようなものか理解が薄いなどの様に進めていくのか。

答 今後については、モデル地区において「地域経営会議」が設置されたところで、身近な事例としてモデル地区の取り組みを紹介しながら住民の皆さんと意見交換を重ね、市内全域での地域経営会議の設置に繋がっていきたい。

その他の質問項目

地方創生

地域ブランド

一般質問

佐藤 論征議員 (新生会)



真田地域簡易水道 統括事業と湧水利用

湧水利用

問 つちや湧水、滝の入湧水は、水源地の大日向自治会と基本合意書が交わされ、日本一の湧水が市の水源として利用できることとなったが、取水量の算定根拠と水量・水質の調査状況は。

答 (峰村上下水道局長) 取水量は一日6800m³。これは総湧水量の3分の1で生活用水や自然環境には影響ない。水量・水質は、3〜4年の調査が行われ非常に良質。

問 管路と給水時期の計画はどうなっているか。

答 (峰村上下水道局長) 管路については、大日向自治会水道事業対策委員会と検討し、年内に決定する。給水は、上流側から整備し、一番近い大日向地区は平成29年度中を目途に給水。事業期間は平成31年まで。

一般質問

土屋 勝浩議員 (新生会)



指定管理者制度

問 三年前の一般質問の中で、指定管理者の労務管理について問題点を指摘したが、その後どのような改善がなされたか。

答 (武井総務部長) 基本協定締結の際に、従業員の適正な労働条件の確保に関する条項を明文化した。さらに、モニタリング評価において研修を強化するなど、労務管理に関するチェック体制の整備を図ってきた。

問 モニタリング評価は、その専門性を考慮すると、担当課別ではなく業種別にチームを編成すべきと考えられるがどうか。また、今後第三者評価を導入していく考えはあるか。

答 (武井総務部長) 担当課以外の者も加えたチームによる評価は、相対評価が可能となるなど有効な評価方法であると認識している。今後は第三者

コミュニティ・スクール

問 コミュニティ・スクール移行に関する市の方針はどうか。

答 (小山教育長) 国や県それぞれの考え方はあるが、市としては開かれた学校づくりを目的に、地域の状況に合わせて進めていく。

問 この制度を広く市民に知っていただくための啓発活動は進んでいるか。また、地域コーディネーター育成の現状はどうか。

答 (小山教育長) これまでも講演会の開催等を行ってきたが、今後はさら

に出前講座も活用し周知を図っていく。地域コーディネーターの育成についても、従来の研修の他お互いに情報交換のできる場を設けていく。

一般質問

古市 順子議員（日本共産党）



地域包括

ケアシステム

問 地域包括ケアシステムの概要はどうか。

答（小林健康福祉部長） 要介護状態でも必要なサービスを受けながら、可能な限り住み慣れた自宅や地域で自立した生活を続けられるよう、地域ぐるみで支えていく仕組みである。

問 要支援者の訪問・通所介護事業の市の「新しい総合事業」への移行時期は平成29年4月とすべきではないか。

答（小林健康福祉部長） 今後さまざまな課題を整理し、遅くとも平成29年4月からは開始することとなっているので、介護保険運営協議会の意見等を聞き、適切な時期に円滑に移行していく。

問 「新しい総合事業」のボランティア団体も含む担い手をどのように考えているか。

答（小林健康福祉部長） 多様なサービスについては、現行の介護保険事業者の他に有料で福祉サービスなどを実施している団体等との協議も検討しているボランティア団体も担い手となっていたり、できるよう取り組んでいく。

低所得者対策

問 生活保護費引き下げ、年金の減額等により生活苦が広がっている。平成19、20年度に実施した、市民税非課税世帯への冬期間の灯油等の購入補助の実施を提案する。

答（小林健康福祉部長） 灯油価格は高止まり状況だが、本年度の冬期間の平均気温は例年よりも高めとの予報が出ている。このような状況を勘案し、現時点では、対象世帯への灯油購入補助については考えていない。

12月定例会 請願・陳情の審査結果

請願

件名	提出者	審査結果
集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回することを求める請願	上小地域「9条の会」連絡会 代表 島田佳幸氏 ほか10人(紹介議員 成瀬拓議員)	不採択
インフルエンザ予防接種自己負担額軽減のための助成を求める請願(継続審査中)	新日本婦人の会上田支部 支部長 深町吉恵氏 (紹介議員 成瀬拓議員)	継続審査

陳情

件名	提出者	審査結果
総合福祉センター建設に関する陳情	社会福祉法人上田市社会福祉協議会 会長 丸山正明氏ほか6人	採択
精神障がい者も病院でなく地域社会の中で自分らしく暮らせることを求める陳情	上小山びご会(精神障がい者家族会) 会長 吉本千賀子氏	趣旨採択
介護従事者の処遇改善を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子氏	不採択
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子氏	不採択
人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める陳情	在日本大韓国民団長野県東信支部 団長 金朝樹氏	趣旨採択
農業・農協改革に関する陳情	信州うえだ農業協同組合 代表理事組合長 芳坂栄一氏	趣旨採択

※次回の3月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限は、2月24日(火)の午後3時です。

平成26年度上田市議会報告会における意見交換



塩田公民館でのようす

昨年、10月20日(月)から26日(日)まで、市内9会場で開催した、平成26年度上田市議会報告会には、387人の方々に参加いただきました。議会からは、4つの常任委員会と2つの特別委員会から活動報告を行い、引き続き、参加者皆さんとの意見交換を行いました。

今回の議会報告会では、昨年ご要望の声が多かった、意見交換の時間を延長し実施しました。各会場で行われた意見交換の一部を会場ごとにご紹介します。

西部公民館

- Q** 議員30人が共通意識を持つ場を持っているのか。
- A** 議員間討議の実施については、現在、議会機能強化特別委員会で検討を行っている。議会全体で議論を深めていくことが大切だが、最終的な、賛成・反対は、多数決で決めることが民主主義の原則である。
- Q** 西部公民館建て替えの要望について、どうなっているのか。
- A** 議長に要望書が提出されており、重く受け止めている。総務文教委員会の委員全員が課題について、認識をしている。

サントミューゼ

- Q** 空き家対策について空き家は把握してもらっているが、その先がなかなか進まない状況だがどうなっているのか。
- A** 老朽化した空き家対策については、全国的な問題になっている。一自治体で解決できる問題ではないので、国にも要望をあげているところである。空き家条例の中で取り壊しのための補助金を出している自治体もあるので、今後調査研究していきたい。
- Q** 子育て支援新制度がスタートする。この中身はどんなものなのか。
- A** 保育時間が8時間から11時間に延長される。延長保育料がかからなくなる分、子育て支援につながるものと思う。

上野が丘公民館

- Q** 昨年2月の大雪の際の対応はどうだったか。
- A** 100年に一度といわれる大雪で、幹線道路は除雪にあたることができたが、生活道路まで作業が追い付かなかった。市では、除雪対応の強化をしていく。
- Q** 地域医療の整備はどうなっているのか。
- A** 60億円かけて行われた上小医療・圏地域域医療再生計画は昨年終了した。医師も57人に増え、さらに確保や、緊急医療体制の整備もしっかり行われるよう注視する。

城南公民館

- Q** 議員提案などを行っているのか。
- A** 議員提案については上田市議会の場合、賛同する議員が3人以上いれば行うことができる。議会基本条例に基づき、議員間討議を積極的に行い、議員提案につなげていきたい。
- Q** 長野大学の公立大学法人化についての取り組みはどうなっているのか。
- A** 長野大学からの要請を受け、公立大学法人化検討委員会が設置されており、この委員会の判断を受け、市としてさらに検討することになっている。
- Q** 学校・保育園の老朽化対策はどうか。
- A** 9月定例会で未実施施設について耐震化の予算が付けれられ、順次進めている。

川西公民館

- Q** 消防団員の多くはサラリーマンで、仕事や家族を犠牲にしている。処遇改善をお願いしたい。
- A** 他市で行われている事例等を紹介し、団員の声を聞かせていただく機会を作りたい。
- Q** 運賃低減バスの利用者の川西地区での増加はどのくらいか。
- A** 運賃低減バスは3年間の実証運行中。利用者の50%増を目指している。室賀線は約2倍になった。
- Q** 議会報告会の開催案内が自治会まで届いていなかった。
- A** 各自治会に通知が徹底できなかったことについては、改善策を講じていく。

塩田公民館

- Q** 地域内分権について、内容がよくわからない。
- A** 行政の権限の一部を地域に渡すというもの。地域の課題やニーズを自分たちで考え、行っていくことになる。行政がやらなければならないものは、今後も行政が行う。
- Q** 想定される災害について、きめ細かな対策マニュアルを関係団体に提示してほしい。
- A** ハザードマップを6月に全戸配布するように事業が進められている。また、拠点となる防災倉庫の整備も進められている。優先順位を決めて早めに情報を入手し、初動体制をしっかりと整える。

真田中央公民館

- Q** 政務活動費について、全国で様々な問題が起きている。上田市では金額は少なくとも大きな仕事をしてほしい。
- A** 上田市では、一人年額24万円の政務活動費を会派に支給し、調査もしっかり行っている。少ない予算の中で大きな効果が得られるよう精いっぱい努力する。
- Q** 減反政策がなくなり、農地の借り手がなくなる。
- A** 地域の農業政策をどうするかが、重要な課題である。若い人を中心に取り組んでいるところが出てきており、活動内容などを視察に行き、農業の活性化について研究する。

長瀬市民センター

- Q** 大河ドラマ「真田丸」のパンフレットには千曲川右岸のことがしかない。尾野山に陣取ったことなども図面に残っているので取り上げてほしい。
- A** これからNHKが情報収集することになっている。「真田丸」放送が成功できるよう取り組む。
- Q** 飯沼地区の大沢上流に大規模太陽光発電施設を造る計画が持ち上がったが、ここは昔から雨が降ると大水が出て危険なところである。陳情を採択してもらってありがたい。
- A** 議会では陳情を採択し、県に意見書を提出した。県でも慎重に対応すべきと考えている。



長瀬市民センターでのようす

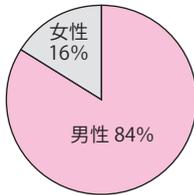
武石公民館

- Q** 平井寺トンネルの無料化に向けた状況はどうか。
- A** 無料化の方向へ進んでいる。平井寺トンネルは平成30年、三才山トンネルが平成33年に無料化される予定。通勤時間帯には半額となる割引制度も利用してほしい。
- Q** 4市町村が合併して8年になったが、議会としてその功罪を市民に伝えてほしい。
- A** 今年は合併9年目となり、市長の持っている権限を地域に移す方向で議論している。地域内分権も第4ステージに入っており、市民満足度調査も行っている。不便なところは率直に言ってほしい。

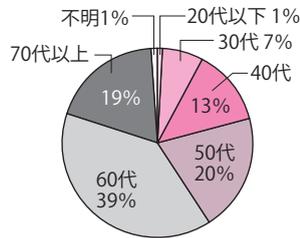
議会報告会場アンケート結果

今回の議会報告会では、会場での意見交換のほか、当日お配りしたアンケートにも多くの方にご協力いただきました。ここでは、アンケートの結果についてご紹介します。

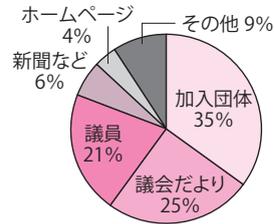
参加者の性別



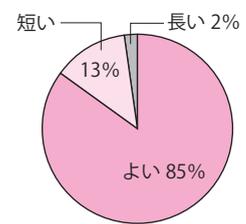
参加者の年齢



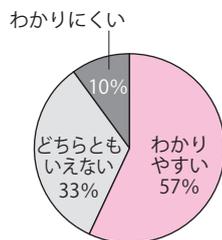
議会報告会の開催を
何で知りましたか



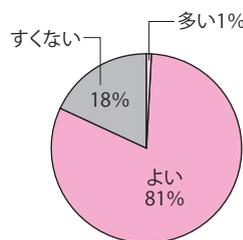
議会からの報告の
説明時間は



議会からの報告内容は



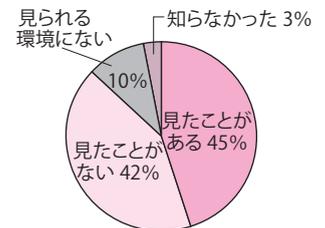
説明資料のページ数は



意見交換の時間は



議会ホームページを
見たことは



Q 議会だよりで知りたい情報は何ですか。

- ・定例会ごとの議案についての議員の賛否
- ・行政視察の詳細と上田市としての参考点などを掲載してほしい。
- ・請願・陳情の採択における賛否の内訳。
- ・重要課題に対する取り組みについての情報。
- ・身近なことを議員にどう伝え、どう解決していくか教えてほしい。
- ・議会内の取り決め内容を詳しく知りたい。
- ・ページ量が多すぎる。

Q その他の感想やご意見

- ・議員定数減についてさらなる取り組みをお願いする。
- ・提案、議題を共有し、議論・意見を交わす形も面白いと思う。
- ・タウンミーティング的なことをしたほうがよい。
- ・各委員会の報告をもう少し詳細に説明してほしい。
- ・議会報告会で少しずつお互いに立場をわきまえた意見交換会ができるようになってきたと感じる。こつこつとレベルアップを続けていただきたい。
- ・女性の参加が少ない。女性がたくさん参加できる仕組みを作ってください。
- ・意見交換の内容が、行政への質問、要望になっているのでは。
- ・今回の質問、意見、請願に対する回答・結果を議会報告会資料に載せてほしい。
- ・資料は多ければよいというものではなく、コンパクトに低コストで、人員ももっと絞って行くべき。
- ・報告会の日程を自治会を通してわかりやすく連絡してほしい。
- ・その他行政への要望（消防団員の確保、松くい虫対策、地域自治センターの機能等）

意見交換やアンケートでいただきましたご意見については、議会及び議会報告会に関するものは、今後の参考にさせていただきます。また、市政に関するご意見のうち、主なものは市側に報告させていただきます。

議会報告会は、来年度も継続して開催する予定です。より多くの皆様のご参加をお待ちしています。来年度の議会報告会の日程は、議会だよりや議会ホームページ等を通じてお伝えする予定です。

常任委員会行政視察報告

■実施日 平成26年7月23日(水)～7月25日(金)

厚生委員会

1 鹿児島県鹿児島市

「すこやか子育て交流館(愛称:リぼんかん)の取り組み」

親子の集い、交流の場の提供、子育てに関する相談の充実など、子育て家庭や子育て活動を総合的に支援する拠点施設として設置。「ひろがる笑顔、支え合う子育て」をキーワードに、親子が気軽に集い、相互に交流する場を提供するとともに、育児相談や子どもの一時的預かり、子育てに関連する情報の発信や関係団体との連携・情報の共有化を行い、地域の子育て支援機能のさらなる充実を図っている。

2 福岡県久留米市

「久留米市の自殺対策(久留米方式)〜自殺のないまちをめざして〜」

かかりつけ医と精神科医の連携システムを全国に先駆けて構築し、実績と成果を上げている。「久留米方式」と言われる取り組みに特徴がある。

自殺対策事業として、①普及啓発事業②ネットワークづくり③人材養成④自殺遺族支援の4つの柱を市の中期ビジョンに位置付け取り込んできている。特にゲートキーパー養成講座は、市民の中に自主的で組織的な活動を生み出している。



また、「かかりつけ医」と「精神科医」の連携がきちんと図れているか検証し指導する仕組み、いわゆる「久留米方式」が確立されている点は注目され、成果を上げている。

2 福岡県福岡市

「保育士・保育所支援センターの取り組み」

全国的に保育士不足が社会問題となり、上田市においても保育士の確保が重大な課題となっている。福岡市では、保育士・保育所支援センターを設置し、長く現場から離れていた保育士の復帰支援や処遇改善、求人している保育園の紹介などの取り組みなどを行っている。

環境建設委員会

■実施日 平成26年7月23日(水)～7月25日(金)

1 東京都調布市

「クリーンプラザふじみの施設整備及び運営について」

資源循環型施設建設は、上田市にとっても重要課題である。今回、先進施設を視察し、特に、地元との合意形成をどのように努力されたか調査。施設の特徴は、ごみの完全燃焼、周辺環境に配慮した施設、システムの自動化、余熱の有効利用である。

ごみ処理施設整備は、覚書の締結から工事着工まで11年の歳月を要したが、市民との協働の取り組みと積極的な情報公開により、市民との信頼関係が少しずつ、確実に深まり、市民の理解を得ることができた。

2 北海道小樽市

「空き家、空き地バンク制度について」

小樽市が平成21年から制度化、スタートした空き家、空き地バンク制度は、行政が情報提供し、実質的な空き家、空き地の斡旋による有効活用の事業には、市に登録された市内の民間不動産業への委託した施策として実施され133件の空き家の契約が成立し、一定の成果を上げているが、経済の振興、雇用環境改善対策と並行して取り組む必要性があると感じた。

3 北海道江別市

「公園アダプト制度、市民参加による公園づくり事業について」

アダプト制度とは、市民と行政が協働で進める「まちの美化プログラム」で、自治会やNPO、企業などが公園や道路の里親となり、定期的継続的に清掃活動を行い、行政がこれを支援する仕組みのことである。

江別市では、①公園愛護②市民協働③公園管理費縮減の観点から導入しており、市民協働、公園愛護の点で優れた取り組みである。市民参加による公園づくり事業は、地域の町内会や小学校と連携し、再整備の計画づくりを行っている。



上田市議会

平成27年度 市議会だより・ 市議会ホームページモニターを募集します

上田市議会では、開かれた議会を目指し、広報・広聴活動の更なる充実に向けて取り組んでいます。その一環として、議会だよりと上田市議会のホームページに関して、市民の皆さんのご意見を参考にし、より充実したものにしていくために、「平成27年度 広報・広聴モニター」を募集します。



○お願する内容

- 1 議会だよりに関する意見、感想等を所定の様式で提出
- 2 上田市議会のホームページに関する意見、感想等を所定の様式で提出
- 3 モニター会議への出席（年1回程度を予定）

○定員 10人以内（応募多数の場合は、抽選とさせていただきます）

○任期 平成27年5月1日から平成28年3月31日まで。

○モニターの要件

上田市に居住する20歳以上の方で、原則として、任期中に発行される議会だより（定例会4回、臨時号1回）を毎回ご覧いただける方。かつ、上田市議会のホームページが閲覧可能な方。

○謝礼 会議へ出席した際の交通費相当。

○申込について

所定の申請用紙にご記入いただき、2月27日（金）までに上田市議会事務局へ、郵送、FAXまたは電子メールで提出ください。申請用紙は議会事務局へご連絡いただくか、上田市議会のホームページからダウンロードしてください。

なお、モニターに決定した方には、後日改めてご連絡いたします。

お問い合わせ、申込先

上田市議会事務局
〒386-8601
上田市大手1-11-16
TEL0268(22)0452
FAX0268(23)5136

平成27年度 上田市議会の開会予定日

- ・ 6月定例会 開会日 平成27年 6月15日（月）
- ・ 9月定例会 開会日 平成27年 8月31日（月）
- ・ 12月定例会 開会日 平成27年11月24日（火）
- ・ 3月定例会 開会日 平成28年 2月22日（月）

各定例会で審議する請願・陳情の提出期限は定例会開会日の翌日午後3時です。

開会予定日は、変更になる場合もありますので、日程の詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

今年、3月14日の北陸新幹線開業と、4月5日から始まる善光寺御開帳が上田城千本桜まつりと重なって開催されることになり、上田城周辺は一段と賑わいを増すことになりました。また、真田幸村公が亡くなった「大阪夏の陣四百年」にあたり、昨年、大阪城四百年祭が始まっています。NHK大河ドラマ「真田丸」の撮影も始まり、脚本が少しずつ分かって来ると益々期待が膨らむのではと思われまふ。季節も二十四節季の小寒から大寒と一年中で一番寒い時期を迎える訳ですが、既に冬至からは一日と太陽も高度を増して、日が長くなっています。節分の夜に食べると幸運に恵まれると「恵方巻」も、一般的になつてきました。そこで一句。

「迷信と云って
一人で恵方巻」
(小坂井二郎)